

日本陸水学会甲信越支部会

第 36 回研究発表会プログラム

2010 年 11 月 27 日 (土) ~ 11 月 28 日 (日)

発表会場：布引温泉 こもろ 大会議室・小会議室

懇親会場：布引温泉 こもろ 大広間

〒384-0071 長野県小諸市大字大久保 620 3

電話：0267 - 22 - 2288

日 程

月 日	時間	行事等	会場等
11月27日(土)	13:30 14:30	受付 ^{1,2)}	1F ロビー
	13:30 14:30	ポスター掲示 ¹⁾	2F 小会議室
	14:30 16:30	口頭発表 (1)(2) ²⁾	2F 大会議室
	16:40 17:30	ポスター予告・ 幹事会	2F 大会議室 1F ロビー
	17:40 18:00	総会	2F 大会議室
	18:30 20:30	懇親会	1F 大広間
11月28日(日)	7:00 8:30	朝食	1F レストラン
	9:00 11:10	口頭発表 (3)(4) ²⁾	2F 大会議室
	11:10 13:30	ポスターセッション ¹⁾	2F 小会議室
	12:00 13:00	昼食 ³⁾	1F レストラン
	13:30 14:30	口頭発表 (5) ²⁾	2F 大会議室

- 1) **ポスター発表**の方は、受付後、直ちにポスターを掲示してください。
パネルの大きさは幅 90cm、高さ 180cm です。掲示に必要なピンは各自ご用意下さい。
演題番号が奇数の方はポスターセッションの前半 60 分、偶数の方は後半 60 分、各自のパネルの前に立ち質問に答えてください。
1 日目のポスター予告は 1 人 2 分以内(時間厳守)でお願いします(パワーポイント使用可)。
ポスターの撤去は、口頭発表終了時刻までに終えてください。
- 2) **口頭発表**の方は、開会前に受付へプレゼンテーションのファイルを提出してください。
進行の妨げとなりますので、USB フラッシュメモリー等、ウイルス感染のないことを事前にご確認下さい。また、受付にて動作確認を行ってください。
口頭発表の時間は、発表 12 分 + 質疑 3 分の計 15 分間です。(1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 15 分)
- 3) **食事**は予約制です。昼食を受け取る際に、受付で配布された食券を提示してください。
食事は 1F レストラン内でお召し上がりください。

発表プログラム

11月27日(土)

開始時刻 14:30

開会の言葉(風間 ふたば 会長)

口頭発表(1) 座長: 渡辺 琴文(信州大学・総合工学系研究科)

時間係: 山田 智哉 マイク・照明係: 木下 悠史

14:35 O-01 Biomanipulation 後の湖沼におけるカブトミジンコの形態変化

伊澤 智博・河 鎮龍・花里 孝幸(信州大学・山岳科学総合研究所)

14:50 O-02 北ハヶ岳双子池における動物プランクトン群集の長期変動とそれを制御する
環境要因

平野 真聡・花里 孝幸(信州大学・山岳科学総合研究所)

15:05 O-03 須坂の陸水と微小生物

落合 照雄(信州淡水生物研究所)

口頭発表(2) 座長: 二木 功子(信州大学・総合工学系研究科)

時間係: 木下 悠史 マイク・照明係: 山田 智哉

15:30 O-04 諏訪湖の湖周に吹く風に関する時空間特性の分析

勝田 惇司・木村 昌嗣・豊田 政史(信州大学・工学部)

15:45 O-05 諏訪湖水質分布の季節変化とその要因

小松 正知・宮原 裕一(信州大学・理学部)

16:00 O-06 休耕田を利用した地下水涵養における細菌類の消長

吉岡 翔時・奥川 光治・安田 郁子(富山県立大学短期大学部専攻科)

16:15 O-07 水電解処理によるアオコ毒素 microcystin の除去

Jeon Bong-Seok・Han Jisun・朴 虎東(信州大学・総合工学系研究科)

ポスター予告 座長: 永田 貴丸(信州大学・山岳科学総合研究所)

時間係: 平野 真聡 マイク・照明係: 小松 正知

16:40-17:30 P01-P22 1人2分以内

16:40-17:30 幹事会(幹事等支部会役員のみ)

17:30-18:30 自由時間(入浴など)

17:40-18:00 総会(会員のみ)

18:30-20:30 懇親会

11月28日(日)

開始時刻 9:00

口頭発表(3) 座長：河 鎮龍(信州大学・山岳科学総合研究所)

時間係：内藤 健太 マイク・照明係：戸田 龍太郎

9:00 O-08 千曲川中流域における河面を飛翔するトビケラ成虫の季節変化

生玉 恵理・植田 貴至・平林 公男(信州大学・繊維学部・応用生物学系)

9:15 O-09 松本市内のため池のトンボ相と環境の関連性

上田 成人(信州大学・理学部)

9:30 O-10 鳥屋野潟におけるアサザの生活史と分布

菅井 銀太・竹内 希・福原 晴夫(新潟大学・教育人間科学部)

9:45 O-11 アサザ(*Nymphoides peltata*)の異型花柱性と新潟県における異型花の分布

竹内 希・菅井 銀太・福原 晴夫(新潟大学・教育人間科学部)

口頭発表(4) 座長：君島 祥(信州大学・山岳科学総合研究所)

時間係：戸田 龍太郎 マイク・照明係：三井 優貴

10:10 O-12 異なる温度条件に対するミジンコ個体群の反応
:実験的解析

西野 寛志・花里 孝幸(信州大学・山岳科学総合研究所)

10:25 O-13 湖沼の生態系構造と水質に及ぼすウナギの影響
- 隔離水界を用いた実験的解析 -

小林 宏輝・花里 孝幸(信州大学・山岳科学総合研究所)

10:40 O-14 魚がプランクトン群集と水質に与える影響

西元 宏樹・坂本 正樹(富山県立大学短期大学部専攻科)

10:55 O-15 動物プランクトン群集への魚の捕食と殺虫剤の複合影響

小畑 雄大・花里 孝幸(信州大学・山岳科学総合研究所)

ポスター発表

11:10 - 13:40 P01-P22 ・ 昼食 (12:00-13:00)

コアタイム 奇数番号 11:10-12:10 偶数番号 12:20-13:20

P-01 捕食と捕食者カイロモンが動物プランクトンの群集構造に及ぼす影響 : プランクトン食魚と無脊椎捕食者の違い

君島 祥・花里 孝幸 (信州大学・山岳科学総合研究所)

P-02 ミジンコ個体群における魚カイロモンのコストを調べる

井上 美幸・花里 孝幸 (信州大学・山岳科学総合研究所)

P-03 Biomanipulation 後の湖沼におけるオオクチバスの特異的な食性

伊澤 智博・河 鎮龍・花里 孝幸 (信州大学・山岳科学総合研究所)

P-04 波が作る光のゆらぎが付着藻類の一次生産力に及ぼす影響

宮下 達郎・戸田 任重 (信州大学・工学系研究科)

P-05 千曲川中流域における密閉箱を用いた一次生産速度の測定

井澤 貴志・戸田 任重 (信州大学・理学部)

P-06 千曲川中流における溶存酸素濃度の連続観測に基づく再曝気係数, 一次生産速度及び呼吸速度の推定

渡辺 達也・戸田 任重 (信州大学・理学部)

P-07 千曲川中流域における水生昆虫類の流量変化と季節変化(予報)

植田 貴至・生玉 恵理・平林 公男 (信州大学・繊維学部・応用生物学系)

P-08 湧水地(新潟県潟町砂丘湖沼群・蜘蛛池)におけるオオエゾコエビの個体群動態

高桑 美奈・土田 祥子・福原 晴夫 (新潟大・院・教育学研究科)

P-09 セキシウムとコイの関係について

高橋 一孝 (山梨県水産技術センター・忍野支所)

P-10 山梨県におけるコモチカワツボの棲息確認

堀内 雅人 (山梨県衛生環境研究所・環境科学部)

P-11 カワウによる食害軽減のための恒久的な隠れ場所

村上 眞裕美 (水研センター中央水研)

P-12 保倉川(新潟県関川支川)の陸水生物相 (予報)

安部 信之・松本 史郎・帆苅 信夫・帆苅 信・富樫 繁春・伊藤 正一・
佐藤 豊・平野 譲・伊藤 章・本間 義治 (新潟河川生態研究グループ)

P-13 新潟県上中越地方における淡水動物プランクトン相

帆苅 信・本間 義治 (新潟河川生態研究グループ)

P-14 諏訪湖堆積物から読む過去 300 年間の湖内環境変遷

渡邊 琴文・谷 幸則・公文 富士夫・朴 虎東 (信州大学・総合工学系研究科)

P-15 諏訪湖におけるアオコ溶藻バクテリアの経年変化

二木 功子・中村 剛也・朴 虎東（信州大学・総合工学系研究科）

P-16 諏訪湖のヒメタニシにおける microcystin の蓄積と代謝について

上村 聡・朴 虎東（信州大学・工学系研究科）

P-17 ヒマワリヒヨドリの藍藻 *Microsistis* spp. に対する生長阻害

吉田 智恵子・李 洪武・朴 虎東（信州大学・工学系研究科）

P-18 木崎湖水質の現状(2009 - 2010 年)

山本 雅道・宮原 裕一（信州大学・山岳科学総合研究所）

P-19 山岳湖沼における高分子多環芳香族炭化水素類汚染

内貴 拓也・八島 理智・宮原 裕一（信州大学・工学系研究科）

P-20 山岳地域における多環芳香族炭化水素類の負荷

村津 瑛世・内貴 拓也・宮原 裕一・鈴木 啓助（信州大学・工学系研究科）

P-21 降水の土壌浸透に伴う窒素の挙動(予報)

比後 俊輔・亀井 樹・風間 ふたば（山梨大学・工学部）

P-22 山梨県内水環境における Anammox 反応の存在調査について

亀井 樹・風間 ふたば（山梨大学・工学部）

口頭発表（5） 座長：高桑 美奈（新潟大・院・教育学研究科）

時間係：三井 優貴 マイク・照明係：戸田 龍太郎

13:30 O-16 休耕田を利用した地下水涵養における水質特性

～周辺の地下水との比較～

山本 美咲・奥川 光治・安田 郁子（富山県立大学短期大学部専攻科）

13:45 O-17 浄化用水と海水が交錯する複雑な河川における水質特性

場家 梨渉・奥川 光治・手計 太一・坂本 正樹・安田 郁子

（富山県立大学短期大学部専攻科）

14:00 O-18 鳥屋野潟(新潟県新潟市)に流入する栗ノ木川の水質の現状

・栗ノ木川および栗ノ木川に流入する主要排水路の水質

斎藤 梨絵・竹内 裕太・福原 晴夫（新潟大学・教育人間科学部）

14:15 O-19 鳥屋野潟(新潟県新潟市)に流入する栗ノ木川の水質の現状

・汚染の顕著な大石排水路への導水の影響および主要排水路の特徴

竹内 裕太・斎藤 梨絵・福原 晴夫（新潟大学・教育人間科学部）

終了時刻 14:30

閉会の言葉（花里 孝幸 副会長）

